



東京都立鹿本学園 学校通信 令和8年7月17日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

学びの虹

想定外を想定内へPART2（他人事ではなく自分事に）

『私たちが、考えられる範囲を超えるような事象や経験をしたことがない事象のことを「想定外」と呼んでいると思います。』この文章の書きだしは、昨年度の7月号と同様です。

昨年度は、4月：落雷事故（奈良県、部活動中に6人が被災）、5月、保護者の知人による不法侵入や暴力行為（立川市内の小学校）があり、本校では落雷チェッカーの活用や不審者等への対応の見直しをしました。今年度に入り、学校にかかわる事故が発生しました。

5月：部活動の遠征時のバスの衝突事故（安全性や利用実態に問題）

6月：北区小学校の火災（校舎の窓の外のひさしをつたって避難し、全員無事。一方、洗濯物を電気ストーブとサーキュレーターで乾かしたことが火災の原因・救助袋が有効に利用できなかった）

7月：石川県の特別支援学校の授業中に遊出し死亡（校舎等の施設の問題）

本校は以下のように対応を図りました。

1 貸切バスや福祉タクシーについて（宿泊行事や部活動で利用）

これまでも特別支援学校の行事に経験のある事業所を選定していましたが、チェックシートで適正な送迎車であるか等の確認を追加しました。

2 火災について

本校は、ひさしをつたっただけの避難はできません。「より迅速に的確に避難をすること」を高めていくことが第一です。また、避難の動線も再度確認しました。さらに、知的棟の1階の厨房近くには防煙スクリーンが設置されています。なお、学校スタッフの洗濯は給食関係類や教室で必要なものに限られ、必要に応じて乾燥機を使用しています。

3 遊出対策について

少しの時間でも子供たちの居場所がわからなくなった際は「EMコール、EMコール。〇〇さん。〇階、〇〇（見失った場所）〇時〇分」と全校放送をします。手の空いている学校スタッフは、見失った場所の周辺と校舎外に出ていないかを確認。また、経営企画室では監視カメラの録画を巻き戻し、姿が映っていないかの確認をします。施設も企画室の主事さんと相談しながら改良を重ねています。

「100%の安全」を言い切れるのは難しいと考えます。しかし、様々なことを自分事と捉え、その度に有効な改善を100%行うく努力はしていきます。1学期ありがとうございました。よい夏休みをお過ごしください。

鹿本学園校長 堀江 浩子

防煙スクリーン SEロールⅡ

SEロールⅡの可動レール式なら、スクリーンと一緒にガイドレールも天井内収納され、通常時の室内空間の視界を妨げません。

可動レールの組み合わせによりL字、T字、十字などのバリエーション豊富な納まりに対応できます。



■特長

- 火災時に煙感知器との連動により、スクリーンとガイドレールが同時に自重降下します。
- スクリーン降下のためのガイドレールが可動型で天井に収納されますから、平常時の壁や柱はスッキリします。
- 可動レールの組み合わせによりL字、T字、十字などのコーナー納まりが可能。フレキシブルなスクリーンの配置に対応できます。
- 防災性能評定品 (BCJ評定-BE0007) です。



防災スクリーンは、火災時に有毒な煙のひろがりをせきとめ、避難時間をかせぐための不燃シートやパネルのことです。

毎年、消防点検で動作確認を実施します。

～訪問学級紹介～

本校 S 棟 1 階の 100m 廊下中央に、訪問学級の児童・生徒が図画工作や美術の授業で作成した作品を展示している掲示板があります。「掲示板、賑やかでいいね!」「訪問学級のみんな、元気そうだね」など、掲示板を見た本校教職員から言葉を掛けられることがあります。この掲示板は作品を紹介するだけでなく、各家庭で学習している訪問学級の児童・生徒からの「お便り」のような役割を果たしていると感じています。たくさん作品のそばには、その作品を作った時の様子が書かれています。「〇〇の本を読んで季節の学習をしてから、この作品を作りました」「手でギュッと紙を握って作りました」「スクーリングで校外学習に参加するので、事前学習でこの作品を作りました」など書いてあるので、その児童・生徒の学習の様子が分かります。今年度は訪問学級全員の児童・生徒で、虹輝祭に向けて合同作品を作成しています。10名の力を合わせて、大きな作品を作ります。ぜひ楽しみに待っていてください。



S 部門訪問学級 下田 恵子

～副籍交流について～

いつも副籍交流に御理解、御協力いただきありがとうございます。

今年度の交流の状況については以下のとおりです。

区分	児童・生徒数	交流形態	地域指定校数
知的障害教育部門	386名	直接交流 52名 間接交流 72名	江戸川区 小学校55校・中学校18校 葛飾区 小学校 1校・中学校 2校
肢体不自由教育部門	103名	直接交流 19名 間接交流 25名	

交流はお子さんも保護者の方も楽しみでありながら、不安や緊張もあるかと思います。少しでも安心して楽しく交流を行うことができるよう、担任や特別支援教育コーディネーターが協力いたしますので、心配なことがありましたら、お気軽にお知らせください。お子さんや保護者の方の思いに寄り添った活動ができるよう、地域指定校とも相談し交流の形を検討していきたいと思います。

年度末には「しかもとの副籍」で交流内容を御報告いたします。今後の交流希望について御検討される際にお役立てください。

サポートデスク副籍交流担当

